

●仕様

品名	家庭用電解水生成器
名称	水革命21
型番	J-one - 4000
外形寸法	高さ406mm x 幅205mm x 奥行き267mm (突起部含まず)
本体重量	約3.5kg
定格圧、周波数	AC100V 50/60Hz
定格電流(電解洗浄液)	1A (消費電力 70W)
定格電流(強電解)	0.6A (消費電力 40W)
使用周囲温度	0~40°C (凍結不可)
使用相対湿度	0~85%RH
給水水质	上水道水使用を原則とする (井戸水の場合は要水質調査)
給水水温	0°C~30°C
電解方法	バッチ式隔膜電解方式
電解時間(電解洗浄液)	約4.5時間
電解時間(強電解水)	約10分
電解洗浄	使用毎の極性反転、クエン酸洗浄
処理水量	4ℓ
消耗品	専用重曹、pH測定液セット、本体内洗浄剤(クエン酸) 強電解用試験紙(ヨウ化カリウム澱粉紙)、洗浄液保存ラベル 強酸性水保存ラベル、強アルカリ水保存ラベル

※仕様、外観等は製品改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●アフターサービスについて

保証書：この製品には保証書が添付されています。

「お買い上げ店の捺印、購入年月日」などの記入及び記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

所定事項が記入されていない場合や紛失された場合は保証期間内でも保証が無効となる場合があります。

保証期間：この製品お買い上げの日から1年間です。

正常な使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合は、保証書に記載されている内容に基づき、修理いたします。

保証期間経過後の修理：

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

※補修用性能部品とは、この製品の機能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。

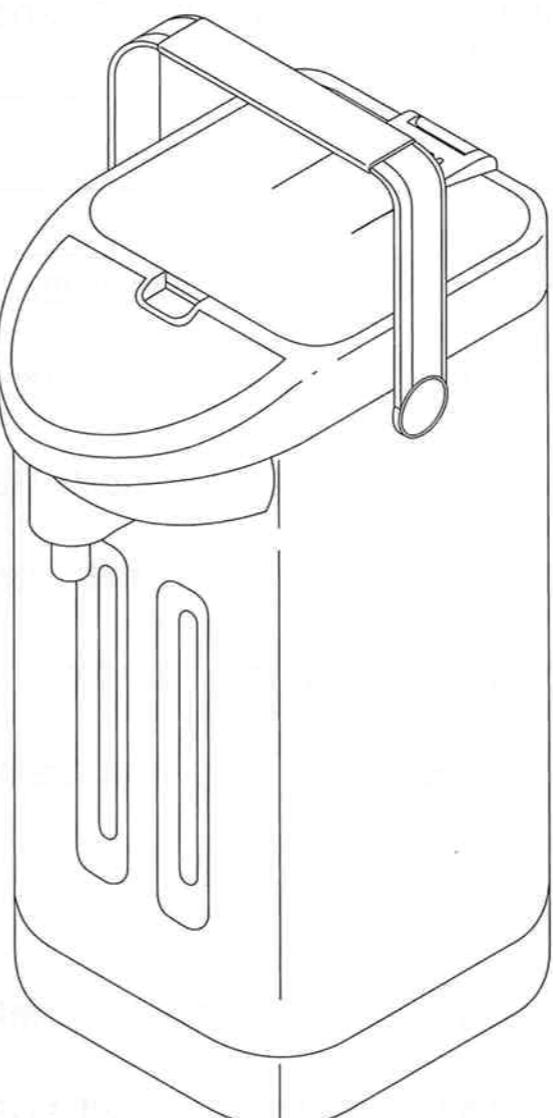
総発売元

J-one

有限会社 イノウエ

603703-00

電解水生成器 水革命21 AQUA TRIO



取扱説明書

この度は当社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品をご使用になる上で大切なことが記載されておりますので、ご使用前に必ずお読みの上、正しくお使いください。

目次

安全上のご注意	①②
各部の名称	③
付属品	④
電解洗浄液の作り方	
重曹水の作り方	⑤
重曹水の入れ方	⑥
電解洗浄液の生成	⑥
電解洗浄液の保存	⑦
洗濯のしかた	⑧
その他の用途	⑨
pH測定液の使い方	⑨
強電解水の作り方	
電解液の作り方	⑩
電解液の入れ方	⑩
強電解水の生成	⑪
強電解水の採水	⑪⑫
強電解用試験紙の使い方	⑫
お手入れのしかた	⑬
故障かなと思ったら	⑭
仕様・アフターサービスについて	⑮

飲料用ではありません。

- 正しい使用をされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
- 本製品は医療用具ではありません。
- 本製品は家庭用ですので業務用に使用しないでください。
- 生成された電解水を洗剤、薬品とまぜて使用しないでください。

■安全上のご注意

(このページは必ずお読みください)

表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。その表示や意味を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



警告

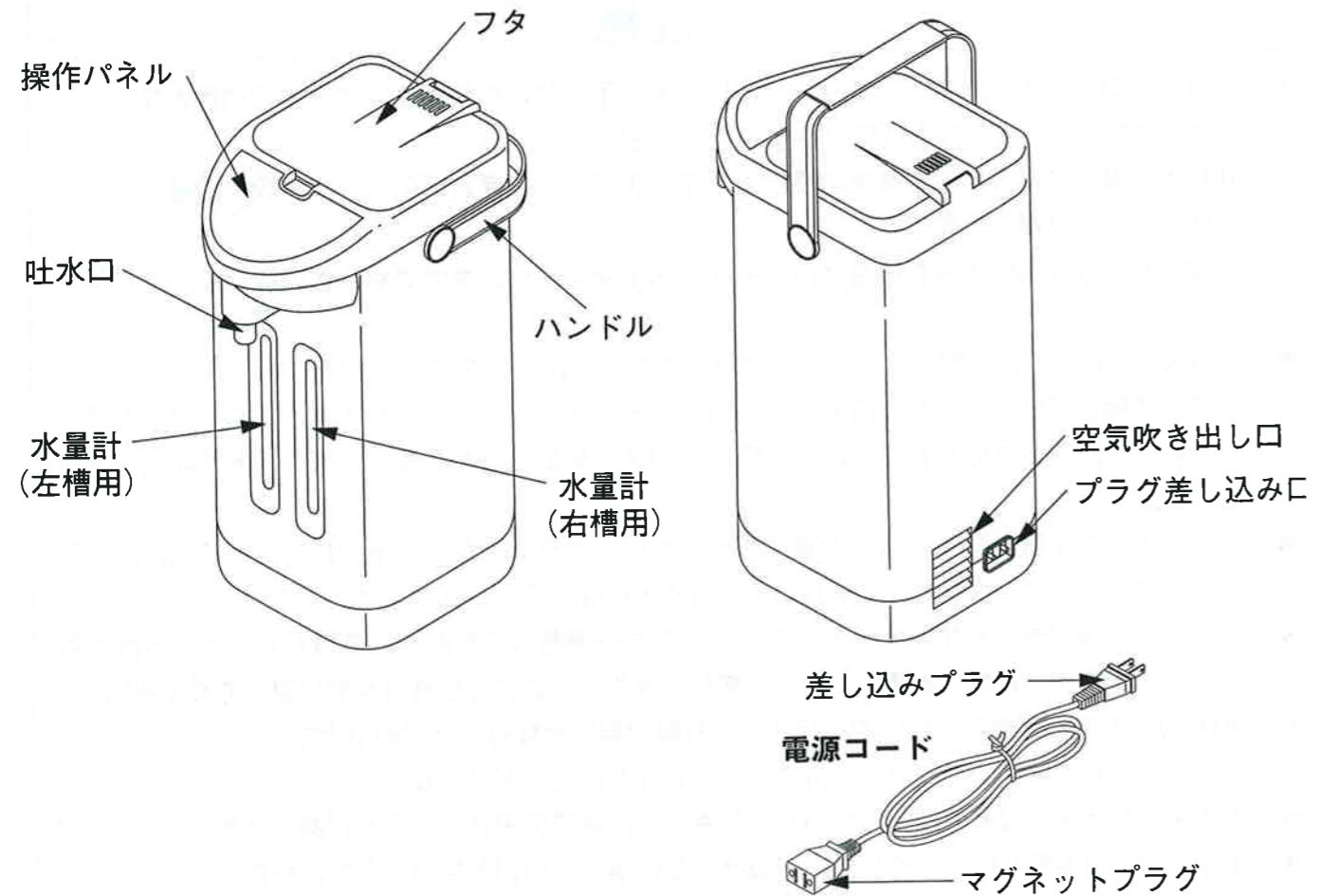
- * 表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- * 本器は国内でご使用ください。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となることがあります。
- * 濡れた手で電源プラグの抜き差しの操作はしないでください。感電の原因になることがあります。
- * 電源コードが折れ曲がったり傷ついたりしないようにしてください。電源コードが破損し火災、感電の原因となります。
- * マグネットプラグに金属やゴミを付着させないでください。火災、感電の原因となります。
- * タコ足配線はおやめください。発熱し火災の原因となります。
- * 電源コードが傷んだまま使用したり、ガタついているコンセントでは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- * 本体を誤って水中に落としたときは、
 - 1) 電源プラグをコンセントから抜き、2) 本体を引き上げ、
 - 3) 販売店に修理を依頼してください。
- * 水道蛇口から直接水を入れないでください。製品内部の電気回路部分に水が掛かり火災、感電の原因になることがあります。
- * 本器の改造、分解は絶対にしないでください。火災、感電の原因になります。その結果生じた事故については一切責任を負いません。
- * 浴室やシャワールームでの使用は絶対にしないでください。
- * 生成された水は外用水ですので、絶対に飲用並びに食品添加物として使用しないでください。万が一飲んでしまった場合には水を飲ませ、医師に相談してください。
- * 風通しの良い所で使用してください。
- * マグネットプラグを幼児が舐めないようにしてください、感電の原因となることがあります。



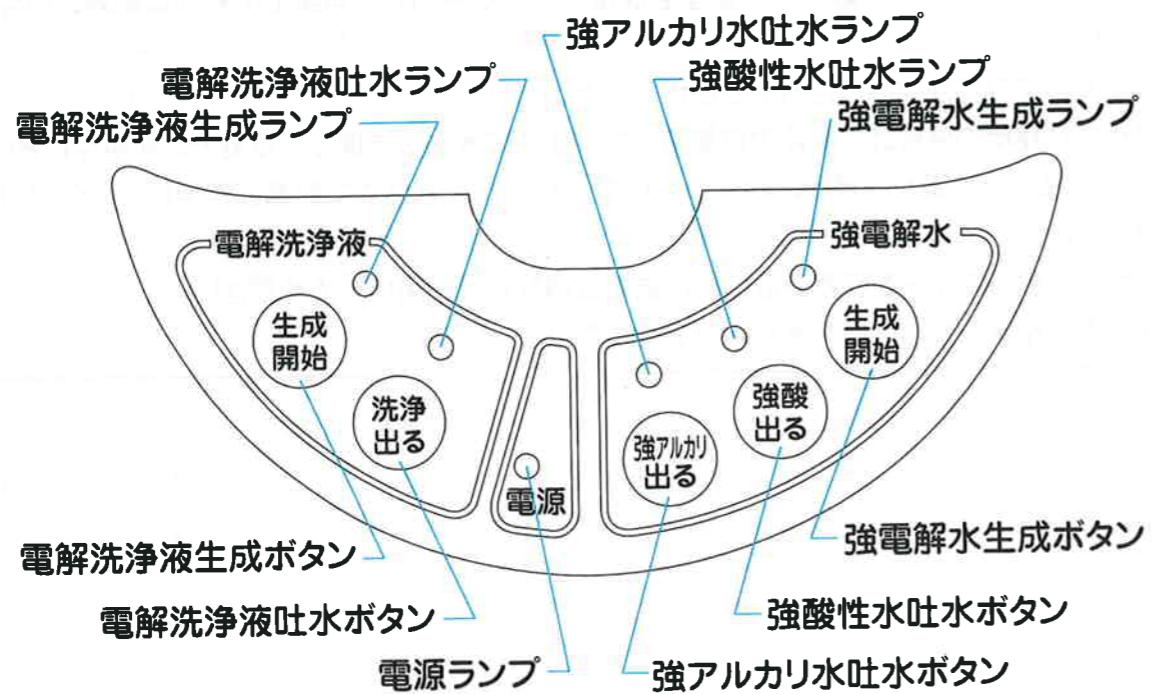
注意

- * 本器に使用する水は水道水を基準としています。不適な水を使用すると故障の原因となることがあります。次のような水は使用しないでください。
井戸水、濁りのひどい水、硬度の高い水、塩分の多い水、赤さびの多い水、汲み置きの水、その他水道基準以外の不適な水。
- * 生成された水が目に入った場合はこすらずに水でよく洗い応急処置をし医師に相談してください。
- * 次のような場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
火気を使用しているところ、直射日光が当たるところ、凍結の恐れがあるところ、湿気やほこりの多いところ、水のかかるところ、腐食性ガスの発生するところ、カーペットや絨毯などの敷物の上。
- * 本体が水平な位置になるように設置してください。グラついた台の上や傾いたところには設置しないでください。落ちたり、倒れたりする原因になることがあります。
- * 電解中は電源プラグを抜かないでください。万が一停電等で電解中に電源が切れた場合は本体内部の水を捨て、新たに重曹水あるいは電解水を作り、最初から電解をやり直してください。
- * 30°C以上の温水は使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- * 水の出口を塞がないでください。故障の原因となることがあります。
- * 水の出口をホースなどで延長しないでください。故障の原因となることがあります。
- * 本器の上に物を置かないでください。故障または事故の原因となることがあります。
- * 本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- * 本器に水をかけないでください。故障の原因となることがあります。
- * 電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張るとコードが傷み火災、感電の原因となることがあります。
- * 故障した場合には、必ず販売店に修理を依頼してください。ご自身での修理は絶対にしないでください。
- * お子さまの手の届かないところでご使用ください。
- * 寒冷地でご使用の場合は、本体内が凍結しないように水を抜き取り、室温でご使用ください。
- * 急に寒い場所から暖かい場所に移動しないでください。本体内で結露が発生し、故障の原因となります。
- * アルカリに弱いアルミ製容器や酸に弱い銅製容器などは使用しないでください。
- * 背面にある空気吹き出し口を塞がないでください。

●本体各部の名称



●操作パネル各部の名称



●付属品

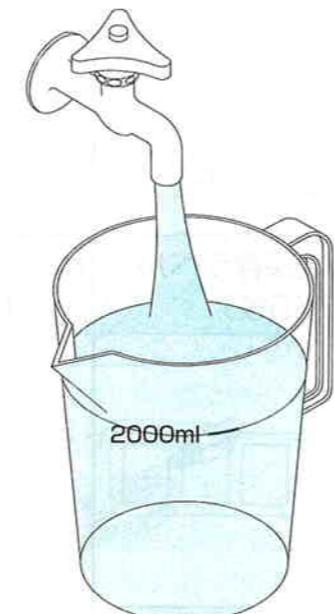
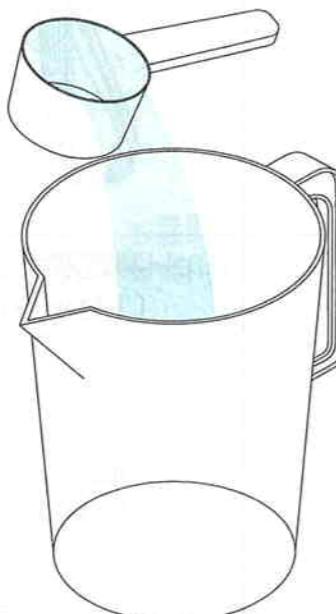
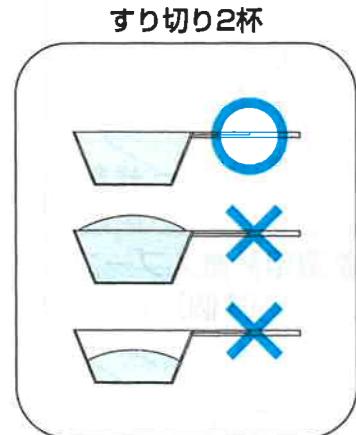
計量カップ2ℓ用 (1個)	洗浄液保存容器 (2本)	攪拌棒 (1本)	洗浄液スプレー (1個)
洗浄液保存ラベル (5枚)	専用重曹 (3kg×2箱)	pH測定液セット (1セット)	重曹用計量スプーン (1個)
食塩用計量スプーン (1本)	強酸性水保存容器 (1本)	強アルカリ水保存容器 (1本)	強酸性水用スプレー (1個)
本体内洗浄剤 (15g×2袋)	強酸性水保存ラベル (5枚)	強アルカリ水保存ラベル (5枚)	強電解用試験紙 (1冊)
(クエン酸)	(赤)	(青)	(ヨウ化カリウム濁粉紙)

■電解洗浄液の作り方

●重曹水の作り方

1. 付属の計量カップに水を入れ重曹を加えて重曹水を作ります。

- 専用重曹を計量スプーンすりきり2杯入れてください。
- 水（水道水）を容器の目盛り2000mlまで入れてください。



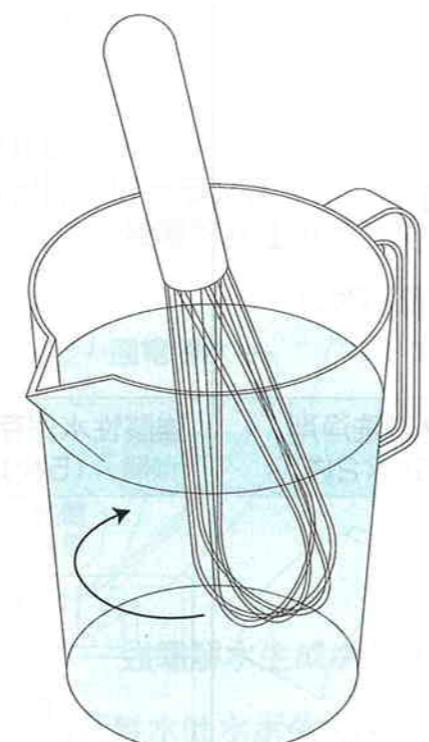
2. 攪拌棒でよくかき混ぜます。

- 重曹は多く入れすぎないようにしてください。
- 白い重曹が溶けて透明な液になるまでかき混ぜてください。
- ぬるま湯（30℃弱）だと早く溶けます。（水温が低いと溶けにくくなります。）

△ 注意 熱いお湯は使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

3. 出来た重曹水を本体（槽内）に移します。

4. 1～2を繰り返し重曹水を2杯作ります。



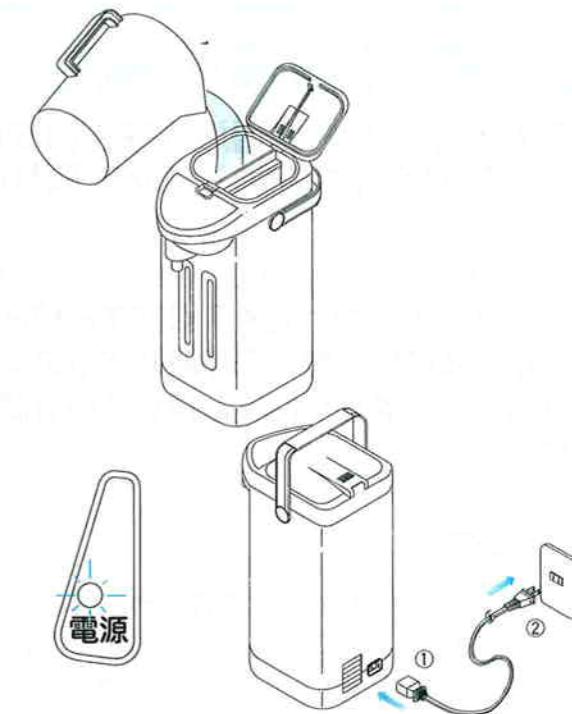
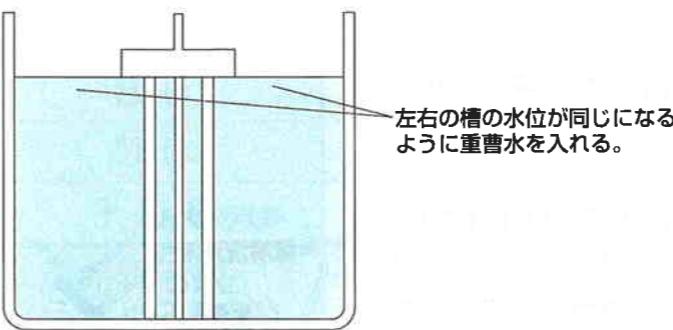
●重曹水の入れ方

1. 本体のフタを開けて、準備した重曹水を左右の槽の水位が同じになるように1杯づついれます。

※重曹水は必ず規定量（4ℓ）入れてください。

2. フタを閉めます。

3. 電源コードのマグネットプラグを本体背面のプラグ差し込み口に差します、次に差し込みプラグをコンセントに差します。 操作パネルの電源ランプが点灯します。



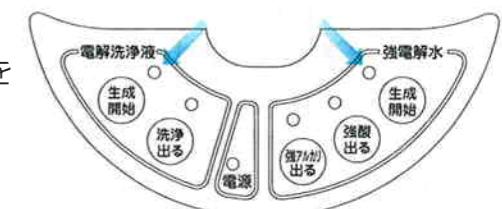
△ 注意

- ※電解中はフタを開けないでください。
- ※電解中は換気を充分行ってください。

●電解洗浄液の生成

1. 洗浄液生成ランプと強電解生成ランプが消えていることを確かめます。

洗浄液生成ランプが点灯している場合は洗浄液生成ボタン、
強電解生成ランプが点灯している場合は強電解生成ボタンを
1回押してランプを消してください。



2. 洗浄液生成ボタンを押します。

洗浄液生成ランプが点滅し電解洗浄液の生成が始まります。

※電解中は電源プラグを抜かないでください。また停電等で電源が切れた場合はいったん槽内の重曹水を捨て最初からやり直してください。

※電解中に停電等で電源が切れた時は電源復帰後全てのランプを点滅してお知らせします。
(いずれかのボタンを押すことにより点滅は解除されます。)

※電解中に停電等で電源が切れた時は、ランプの点滅を解除したのち
吐水ボタンを2秒以上押して排水してください。

※誤って強電解生成ボタンを押してしまった場合は、電源プラグをいったんコンセントから抜いて再度接続後、洗浄液生成ボタンを押してください。



3. 生成が完了しますと洗浄液生成ランプが点滅から点灯へ変わります。

生成時間：約4.5時間

●電解洗浄液の保存

電解が完了したら重曹液保存容器を吐水口に合わせて置き
洗浄液吐水ボタンを押して水を取り出してください。

洗浄液吐水ランプがしばらく点滅しそれから点灯に変わります。
吐水が止まると洗浄液吐水ランプは消灯します。

洗浄液吐水ボタンは短く1回押すと約2秒連続で吐水します、途中で止める時は再度、洗浄液吐水ボタンを押してください。洗浄液吐水ボタンを長く押すと押している間だけ吐水し、放すと止ります。

△ 注意

※電解洗浄液はすぐに本体から全部出してください。

本体の性能低下の原因となる場合があります。

※洗浄液吐水ボタンは生成ランプが点灯している場合だけ押すと動作します。電解が停電等で中断された場合や電解を行わなかった場合は押しても動作しません。

※電解終了後、本体内部の冷却用ファンが約10分程動いて自動的に止まります。冷却用ファンが止まるまで電源プラグやマグネットプラグを抜かないでください。ファンが止まる前にプラグを抜くと故障の原因となることがあります。

※電気分解することにより左右の槽の水位が変わります。

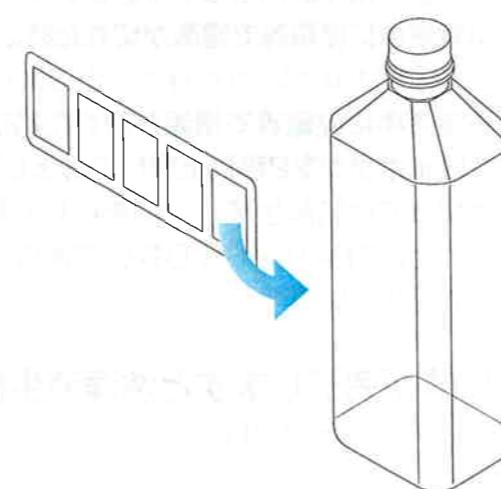
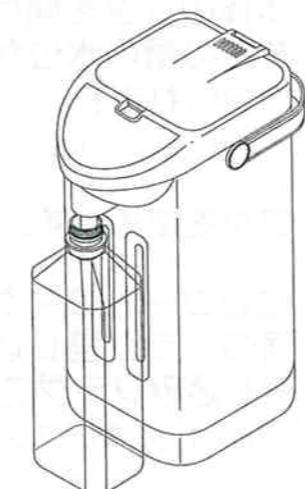
電解洗浄液を吐水させた場合必ずしも左右の槽が同時に空になるとは限りません。

※電解洗浄液生成中は全てのボタンを受け付けません、やむを得ず生成を中断する場合はコンセントから電源コードの差し込みを抜いてください。再度生成を行う場合は本体内の水を捨て最初からやり直してください。

※電解洗浄液生成中は臭いが発生します、換気を充分に行ってください。

※電解することにより、洗浄液の温度が高くなる場合があります。

※保存容器には、付属の洗浄液保存ラベルを必ず貼ってください。飲み物の空容器には絶対に保存しないでください。電解洗浄液を誤って飲んでしまう恐れがあります。



●洗濯のしかた

電解洗浄液の使用量の目安は下記の表を参考にしてください。

洗濯の水量（リットル）と電解洗浄液の量（リットル）の目安

水 量 (リットル)	電 解 洗 浸 液 の 量 (リットル)		
	軽 い 汚 れ	普 通 の 汚 れ	ひ ど い 汚 れ
2 0	0.2	0.4	0.8
3 0	0.3	0.6	1.2
4 0	0.4	0.8	1.6
5 0	0.5	1.0	2.0
6 0	0.6	1.2	2.4
7 0	0.7	1.4	2.8
8 0	0.8	1.6	3.2
9 0	0.9	1.8	3.6
1 0 0	1.0	2.0	4.0
希釈倍数 (うすめる倍率)	100倍	50倍	25倍

※軽い汚れ：毎日取り替える下着類

※普通の汚れ：ワイシャツやシーツ類

※ひどい汚れ：油汚れの作業着等

- 洗濯機の洗濯時間を、12分以上に設定してください。
(洗濯時間が長い程、汚れがよく落ちます。)
- 汚れに応じて洗濯時間と希釈倍率を調整してください。
- 電解洗浄液の特徴のひとつはすすぎが簡単であることです。すすぎは1回が目安ですが、汚れに応じて回数を増やしてください。

△ 注意

●色落ちについて

色落ちの恐れのあるものは別洗いしてください。

●「再汚染」について

「再汚染」とは、洗濯物から出た汚れの成分が再び付着することです。

「再汚染」を防ぐために、汚れのひどいものと汚れていないものをいっしょに洗ったり、汚れた電解洗浄液を使うことは避けてください。

●酸素系漂白剤や酸性洗剤との併用はおやめください。また中性洗剤指定の繊維（ウール絹等）には、使用できません。

酸素系漂白剤は、すすぎのときご使用ください。

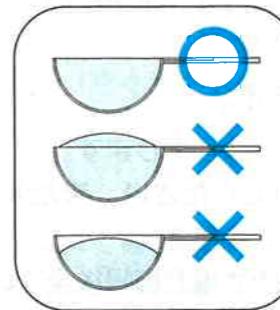
●自動洗濯機の予約洗濯で洗浄液を入れる場合は必ず原液を3倍位に薄めて使用してください。

■強電解水の作り方

●電解液の作り方

1. 計量カップに市販の精製塩を入れ水を加えて電解液をつくります。

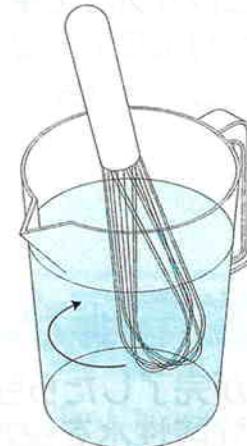
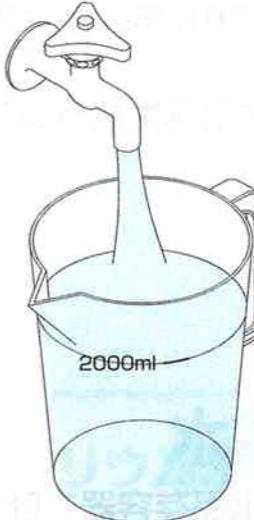
●精製塩を食塩用計量スプーンすりきり 1杯いれてください。



△ 注意

塩は精製塩を使用してください、天然塩や粗塩、調味塩は使用しないでください。故障の原因となることがあります。

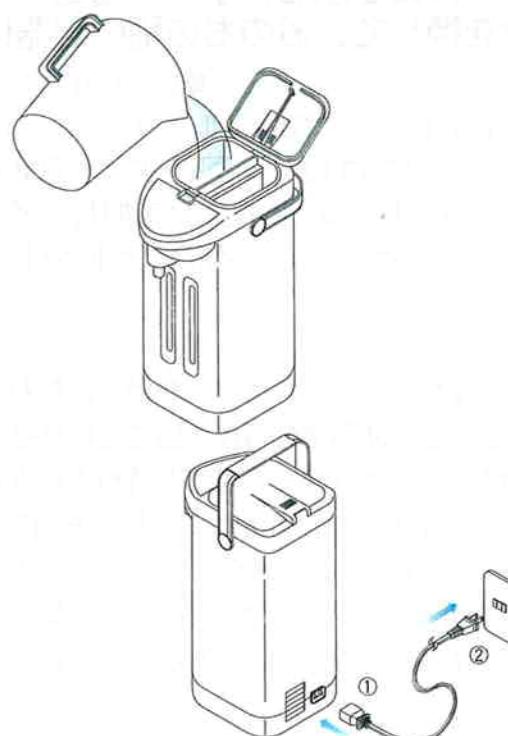
2. 計量カップの2000mlのラインまで水を入れよくかき混ぜます。
3. 電解液を本体内に移します。
4. 1~2を繰り返して電解液を4ℓ作ります。



●電解液の入れ方

1. 本体内の左右の槽に重曹水や重曹が残っていないように水洗いを行ってください。

※重曹が残っていると所定の性能の強電解水が生成できません。



2. 本体のフタを開けて、準備した電解液を左右の槽の水位が同じになるように入れます。

※電解液は必ず4ℓ入れてください。

3. フタを閉めます。

4. 電源コードを本体、コンセントの順番に接続します。

操作パネルの電源ランプが点灯します。

●その他の用途

洗濯以外の電解洗浄液の使い方。

●原液での使用

1. 換気扇の清掃
2. レンジやグリルの清掃
3. お風呂の浴槽や風呂桶等のプラスチック用品の清掃

●汚れに応じて薄めてのご使用

1. 食器洗い
2. 冷蔵庫内の清掃
3. 床、カーペットの清掃
4. ブラインドの清掃
5. 洗面台の清掃
6. トイレの清掃
7. 車の清掃
8. 運動靴の汚れ落とし

△ 注意

特に洗浄液の濃度の濃いままで使用した場合は、乾くと白い粉（重曹）が残る場合があります。軽く水拭きをして仕上げてください。

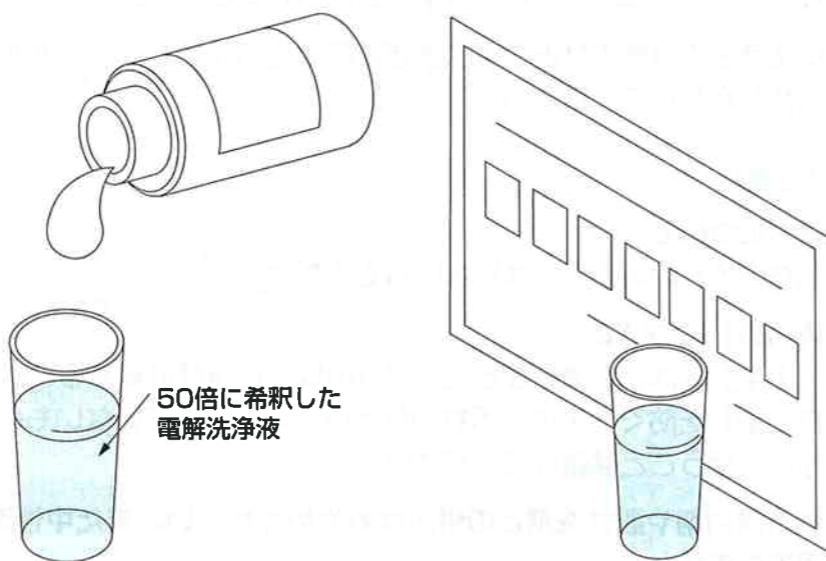
●食器洗いの場合

水道水で10倍～30倍位に薄めた電解洗浄液を洗い桶などに溜め、そこに食器類を漬けておきます。しばらくしたら目の粗いスポンジ等でこすり、必ず流水ですすいでください。

●pH測定液の使い方

50倍に希釈した電解洗浄液をpH測定液セットのカップに8分目ほど取り、pH測定液を1～2滴加え、よく振ってください着色した液と比色紙と比べpH10（濃い紫）にならない場合、洗浄剤を用いて槽内の洗浄（13ページ）を行ってください。

※pH測定液を入れた水は洗浄液として使用しないでください。



△ 警告 pH測定液は、飲んだり点眼しないでください。もし誤って飲んだ場合は水を大量に飲むこと、また誤って点眼した場合は、目の水洗いを充分にし、医師に相談してください。

●強電解水の生成

1. 洗浄液生成ランプと強電解生成ランプが消えていることを確かめます。

洗浄液生成ランプが点灯している場合は洗浄液生成ボタン、強電解生成ランプが点灯している場合は強電解生成ボタンを1回押してランプを消してください。

2. 強電解生成ボタンを押します。

強電解生成ランプが点滅し電解がはじまります。

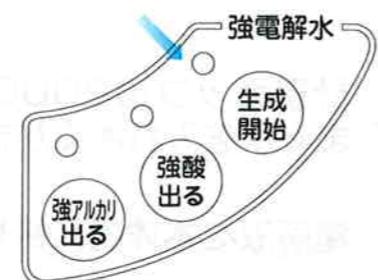
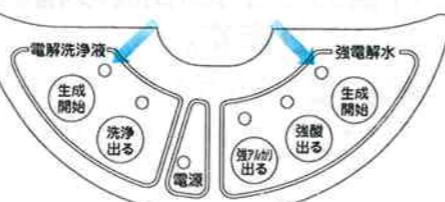
※電解中は電源プラグを抜かないでください。また停電等で電源が切れた場合はいったん槽内の電解水を捨て最初からやり直してください。

※電解中に停電等で電源が切れた時は電源復帰後全てのランプを点滅してお知らせします。(いずれかのボタンを押すことにより点滅は解除されます。)

※電解中に停電等で電源が切れた時は、ランプの点滅を解除した後、各々の吐水ボタンを2秒以上押して排水してください。

3. 生成が完了しますと強電解生成ランプが点滅から点灯に変わります。

強電解水生成時間：約10分

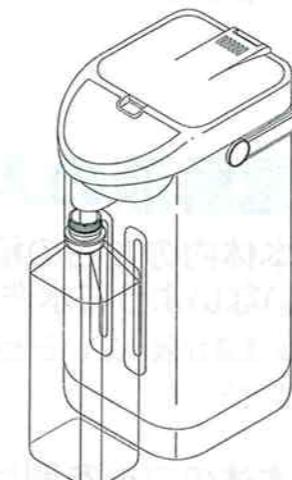


●強電解水の採水

電解が完了したら強電解水保存容器を吐水口に合わせて置き、強酸性水を採水する場合は「強酸性水吐水」ボタン、強アルカリ水を採水する場合は「強アルカリ水吐水」ボタンを押して、おのの別の容器に採水してください。

吐水ランプがしばらく点滅しそれから点灯に変わります。吐水が止まると洗浄液吐水ランプは消灯します。

吐水ボタンは短く1回押すと約2秒連続で吐水します途中で止める時は再度、吐水ボタンを押してください。洗浄液吐水ボタンを長く押すと押している間だけ吐水し、放すととまります。



※「強酸性水吐水」ボタンを押した時右の水量計が少なくなる時と左の水量計が少なくなる時があります。これは電気分解が1回ごと極性を反転させて行なわれるため、強酸性水が右槽に生成されたり左槽に生成されたり1回ごと替わるためです。

「強酸性吐水」はそれに合わせ右槽あるいは左槽から吐水を行います。同様に「強アルカリ水吐水」も右槽あるいは左槽のどちらから吐水を行います。故障ではありません。

※強電解水生成中は全てのボタンを受け付けません、やむをえず生成を中断する場合はコンセントから電源コードの差し込みを抜いてください。再度電解を行う場合は槽内の水を捨て最初からやり直してください。

△注意

※強電解水はすぐに本体から全部出して下さい。

※各吐水ボタンは生成ランプが点灯している場合だけ押すと動作します、電解が停電等で中断された場合や電解を行わなかった場合は押しても動作しません。

※電解終了後、本体内部の冷却用ファンが約10分程動いて自動的に止まります。冷却用ファンが止まるまで電源プラグやマグネットプラグを抜かないでください、ファンが止まる前にプラグを抜くと故障の原因となることがあります。

※電解中はフタを開けないでください。

※電解中は臭いが発生します、換気を充分行ってください。

※電解終了後、内部の電解洗浄液を完全に吐水させるまで本器の持ち歩きはしないでください。電解洗浄液がこぼれ出る場合があります。

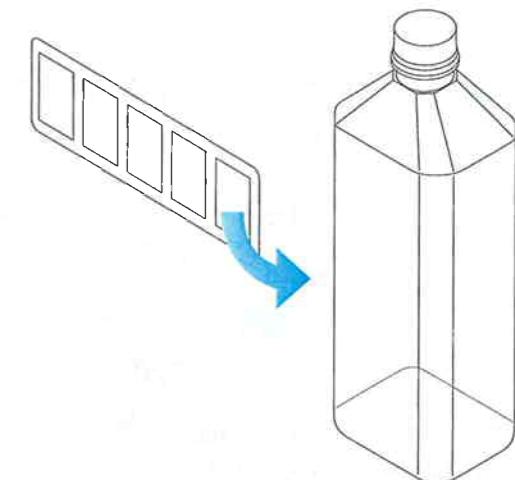
※本体を回転させるときは、ゆっくり回してください。

速く回転させると電解洗浄液がこぼれ出る場合があります。

※保存容器には、強アルカリ水には強アルカリ水用の、強酸性水には強酸性水用の専用保存ラベルを必ず貼ってください。

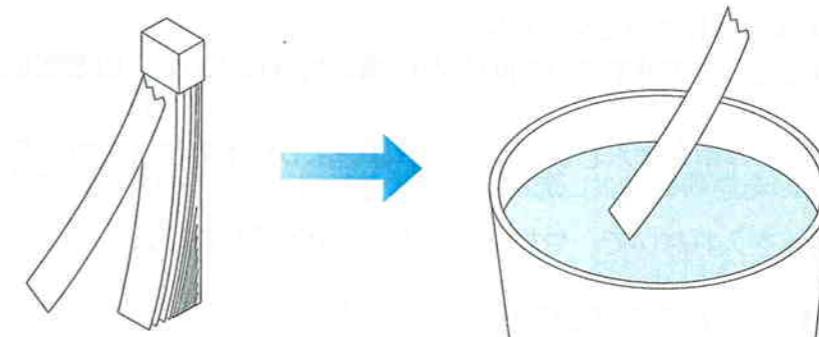
※飲み物の空容器には絶対に保存しないでください。強電解液を誤って飲んでしまう恐れがあります。

※お子さまの手の届かない場所に保管してください。



●強電解用試験紙（ヨウ化カリウム濁粉紙）の使い方

各ご家庭の水質やその他、様々な条件の違いにより、適正な強電解水が得られない場合があります。ガラスのコップ等に強酸性水を入れ、付属の強電解用試験紙でご確認ください。



1枚切り取る

強酸性水に浸ける。

①色が変わるが薄い場合。

槽内に重曹成分が残っていると充分な電解が行えません。次ページ「お手入れのしかた」に従って槽内の清掃を行ってください。

②色が紫色に変わる場合。

適正な電解です。

③色が変わるが黒っぽい。

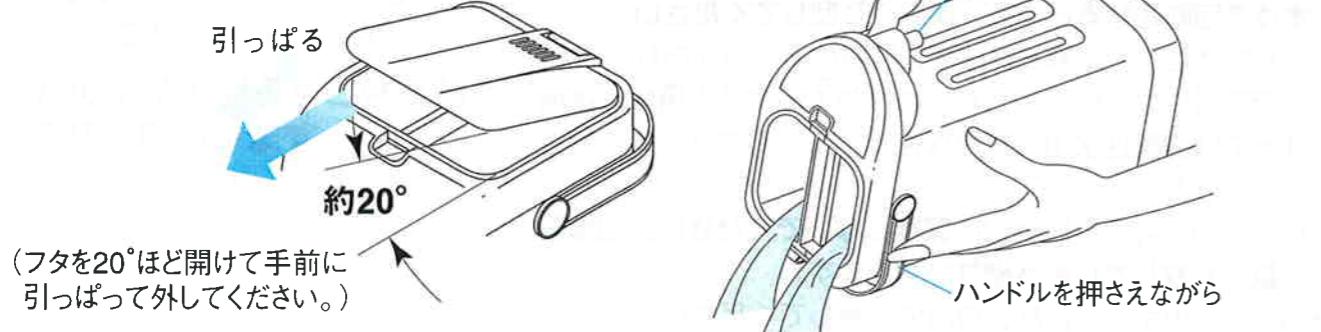
電解が強すぎます。精製塩の量を減らし最初からやり直してください。

●お手入れのしかた

●日常のお手入れ

1. 電源コードをコンセントと本体から抜いてください。
2. フタは取り外して、水洗いしてください。
3. 本体内は水道水で軽くすすぎ洗いをしてください。
(水道蛇口から直接水を入れないで、やかん等で水を注いでください。)
4. 吐水口が上になるようにしてハンドルを押さえながら排水をしてください。
5. 本体の外側は良く絞った布で拭き取るようにしてください。

△ 注意 電解性能維持のため洗浄液生成10回に1度はすすぎ洗いを行ってください。



●洗浄剤を使ってのお手入れ

1. 電源コードを本体とコンセントから抜いてください。
2. フタを外し本体内（槽内）を水道水ですすぎ洗いをしてください。
(水道蛇口から直接水を入れないで、やかん等で水を注いでください。)
3. 計量カップ（2ℓ用）に付属の洗浄剤を1袋（15g）を入れ、水道水を2ℓ加えて洗浄剤が溶けるまで攪拌棒でよくかき混ぜてください。
4. 3を繰り返し4ℓの水溶液を作ってください。
5. 洗浄剤がよく溶けたら、その水を本体内の左右の槽に均等に入れ、12時間以上そのまま放置します。
6. 放置した後、槽内の洗浄剤を排水し洗浄剤が残らないように本体内（槽内）を水道水ですすぎ洗いをしてください。
(水道蛇口から直接水を入れないで、やかん等で水を注いでください。)

△ 注意 電解性能維持のため洗浄液生成30回に1度は洗浄剤を使ってのお手入れを行ってください。

長くご使用いただくために

電解性能を維持し、長くお使いいただくためのお手入れ方法です。生成を行うと本体内（電気分解する槽内）に除々にカルシウムが付着してきます。（これは電気ポットの底に溜まる湯垢のようなものです。）電解洗浄液または強電解水を取り出した後、本体内部（槽内）に水道水を満たし、いったん排水後再度水を満たし、次回ご使用になるまで本体内部（槽内）に水を入れて置くとカルシウムの固着を少なくすることができます。
長期間ご使用にならない場合は、内部の水をすべて排水した後保管してください。

●故障かなと思ったら

症 状	原 因	対 处
電源ランプが点灯しない。	電源プラグかマグネットプラグが抜けている。	電源プラグあるいはマグネットプラグをコンセントまたは本体に接続してください。
本体内ヒューズ切れ。		販売店に連絡してください。
洗浄液生成ボタンを押しても洗浄液生成ランプが点滅しない。	電解ボタンが入っていない。	再度ボタンを押してください。 改善されない場合は販売店に連絡してください。
	電源プラグかマグネットプラグが抜けている。	電源プラグあるいはマグネットプラグをコンセントまたは本体に接続してください。
洗浄液吐水ボタンを押しても洗浄液が吐水されない。(この時洗浄液生成ランプが点滅しています。)	洗浄液生成が完了していない。	洗浄液生成が完了してから再度ボタンを押してください。
	強電解水の生成を行った。	強アルカリ水吐水ボタン、を押して強アルカリ水を、強酸性水吐水ボタンを押して強酸性水を吐水させてください。
電源プラグかマグネットプラグが抜けている。		電源プラグあるいはマグネットプラグをコンセントまたは本体に接続してください。
強アルカリ水吐水ボタンまたは強酸性水吐水ボタンを押しても吐水されない。	強電解が完了していない (この時強電解生成ランプが点滅しています。)	強電解が完了してから再度ボタンを押してください。
	洗浄液の生成を行った。	洗浄液吐水ボタンを押して洗浄液を吐水させてください。
電源プラグかマグネットプラグが抜けている。		電源プラグあるいはマグネットプラグをコンセントまたは本体に接続してください。
50倍に希釈した洗浄液をpH試験液で測定しても所定のpHが得られない。	槽内にカルシウムが固着している。	付属の洗浄剤を使って槽内の洗浄を行ってください。洗浄しても改善が見られない場合は販売店にご相談ください。
強酸性水を強電解用試験紙で測定しても色の変化が少ない。	槽内にカルシウムが固着している。	付属の洗浄剤を使って槽内の洗浄を行ってください。洗浄しても改善が見られない場合は販売店にご相談ください。
	槽内に重曹成分が残っている。	槽内をよく水洗いをしてから再度作り直してください。
電解液を作った時の精製塩の量が少なかった。	電解液を作った時の精製塩の量が少なかった。	電解液の精製塩の量を少し増やし最初から作り直してください。
強酸性水を強電解用試験紙で測定すると色が黒ぼく変化する。	電解液を作った時の精製塩の量が多くすぎた。	電解液の精製塩の添加量を減らして最初から作り直してください。
すべてのランプが点滅している。	電解中に停電等で電源が切れた。	いずれかのボタンを押し点滅を解除してから吐水ボタンを2秒間押して本体内部の水を排水し、最初から作り直してください。